



古賀市記者懇談会（10月）

令和3年10月29日（金）13時30分～

会場：応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ（50音順）

①相性抜群！味の明太子ふくやと古賀の郷土料理「鶏すき」がコラボ【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは農林振興課 中田＝092-942-1120）

古賀市の郷土料理といえば「鶏すき」。鶏すきはたっぷりの砂糖で鶏肉を炒めた後に醤油を加えるという濃厚な味付けが特徴ですが、この伝統的な鍋に“味の明太子”で有名なふくやの旨辛調味料「明太醬」を加えた新たな食べ方を提案します。

この冬は地元の食材をたっぷり使い、旨みを余すことなく満喫できる新しい鶏すきをご堪能ください。

②地元を応援！自宅で「まつりこが」～古賀市ウェブ物産展～【P2】

【古賀市役所】（問い合わせは商工政策課 西村・檀＝092-942-1176）

昨年は新型コロナの影響で中止を余儀なくされましたが、今年はコロナ禍に対応した「古賀市ウェブ物産展」として、まつり古賀をオンラインで開催します。

例年、およそ4万人もの来場者が訪れる人気イベント「まつり古賀」。食のまち古賀が誇る市内企業の商品がお得に購入できるオンラインの販売イベントです。「お家でまつり古賀」をテーマに自宅時間が楽しくなり、喜んでもらえる内容盛りだくさんの企画になっています。

③「デザインかかし」で地域に元気を！【P3】

【古賀市役所】（問い合わせは健康介護課 大嶋＝092-941-6809）

久保区のシニアクラブ（久住会）がコロナ禍で活動が制限されている子どもたちと地域の人たちに元気を与えるため、久保区「かかしまつり」を開催します。久保区公民館前に工夫を凝らした約40体の「デザインかかし」が並び、地域を盛り上げます。

④インキュベーション促進事業薬王寺温泉「快生館」オープン記念イベント【P4】

【古賀市役所】（問い合わせは経営戦略課 久保・栞＝092-942-1113）

テレワークの浸透など働き方に対する人々の考え方の変化を捉え、閉鎖された温泉旅館「快生館」をリノベーションし、サテライトオフィスやシェアオフィス、コワーキングスペース等として活用し、古賀市への移住・定住・滞在を促す新たな取組を展開します。

リノベーション工事が完了し、来たる10月30日（土）をもってリニューアルオープンします。当日は近隣事業者や地元住民を招待して、お披露目会、内覧会を実施する予定ですが、11月20、21、22日の3日間にわたり、一般の方向けに、より多くの方に知ってもらうため、オープン記念イベントを開催します。

⑤郷土読本「わたしたちのこが」を発行【P6】

【古賀市役所】（問い合わせは文化課 柴田・新本＝092-944-6214）

古賀市教育委員会では、郷土こがの魅力について多くの人に知ってもらうことを目的に、郷土読本「わたしたちのこが」を発行しました。

この本は、古賀市の風土や歴史などを、幅広い世代に親しみをもってもらえるように、

写真を多く用いて読みやすさにも工夫した1冊になっています。

《お知らせ》

「福岡県古賀市グルメ豆本」完成！【P7】

まちづくりに興味をもつ、福岡県公立古賀竟成館高等学校の生徒10人が、グルメ本記者となって、市内の飲食店を回り、試食や店主からの直接取材を通して集めた情報をもとに「豆本」を制作して出版しました。

親子でエコ体験！「バスに乗ってお出かけしよう！」を開催～エコな「移動」と「食」で地球温暖化防止～【P8】

市内のバス路線を西鉄バスで移動しながら、バスが環境に優しいことなどの環境学習や、バスの乗り方（時刻表・路線図の見方など）についても学びます。終点の「コスモス館」では、地産地消について学びながら古賀市産の新鮮な野菜や果物を購入します。

バスの利用と地元産の食材を食べる「地産地消」はどちらもCO2排出量削減に効果がある地球に優しいエコな行動です。私たちの普段の行動が地球温暖化防止につながっていることを親子で楽しく学べる講座です。

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 川原、大川＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・11月26日（金）10時00分～ 場所：古賀市役所応接室A
- ・12月20日（金）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A